



楽しい活動で つながいを演出!

文部科学省は、”令和3年度 公民館に関する基礎資料”の中で、社会教育を基盤とした、「人づくり・つながりづくり・地域づくり」に向け、学びへの参加のきっかけづくりを重要視しています。

- ① 楽しさをベースとした学びや活動を組織する。
- ② 子育て・子供の教育、防災、健康づくり、ICT活用といった「地域の魅力化」「より良い地域づくり」につながる身近で前向きに取り組みやすいテーマを設定する。
- ③ 子供参加型のイベント等、子供をきっかけとして子育て世代が参加しやすい活動を工夫する。
- ④ 地域学校協働活動や地域の行事等への参加を通じて、幼少期から子供の地域への理解と愛着を育む取組を促進する。などの具体例を示しています。

本号では、子供や地域住民に学びの場を積極的に提供している 師木野(しぎの)分館を紹介します。

三世代交流「パンづくり教室」8/10 実施



子供も大人もみんなが楽しめることがしたい。それが私のやりたいこと(仕事)です。
＜小坂 社会教育指導員＞

捏ねるのがすごい上手、めちゃくちゃ上手だね。
＜地域住民＞

がんばって下さい。
＜小中学生＞

ありがとう。褒められるとうれしいよ。午前中もやったからね。
＜小学生＞

牛乳50g、水20g正確に測るのが難しいよ。手が震えるよ。
＜地域住民＞

学校のカリキュラムにはない体験です。子供・保護者・高齢者の三世代での心と言葉と行動の温かいやりとりが展開されていました。楽しい活動を通して「つながり」が深まる素敵な演出です。



パフェスタンド作り 8/28 実施

子供たちは、保護者や地域の皆様等に温かく見守られて、大変幸せです。夏休み期間中、師木野分館での様々な活動に参加し、みんなの笑顔があふれていました。
＜藤村 柱野小校長＞



学校、公民館、放課後児童教室が一体となって、柱野地区の子供たちの学びや育ちを支えています。「学校や地域でのつながり」が、子供の幸福感を高めています。



子供たちの作品はどれも個性的です。教える私自身も、とても楽しいです。
＜スイーツデコ作家 林山さん＞

おいしそうになってきたな。本物みたいだな。パティシエになった気分だな。
＜小学生＞